

2. 令和4年2月期通期連結業績予想の修正（自 令和3年3月1日 至 令和4年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,000	1,400	1,400	840	107.55
今回修正予想 (B)	7,300	1,500	1,500	900	115.23
増減額 (B-A)	300	100	100	60	-
増減率 (%)	4.3	7.1	7.1	7.1	-
(参考) 前期通期実績 (令和3年2月期)	6,524	1,427	1,455	1,226	154.73

3. 修正の理由

前期より引き続き当第1四半期において、クラウドセグメントの情報資産プラットフォーム「スパイラル」は、新型コロナウイルス感染症対策に関連する急を要するシステム案件の受注が好調に推移しました。また、金融業界をはじめとした多くの業界でも、顧客接点のオンライン化やDX需要が継続しており、カスタマイズを伴う案件が増えたことにより業績に寄与しました。広告セグメント及びCRMソリューションセグメントでも大型案件に起因した業績の伸長が見られました。

以上により、令和4年2月期の連結業績予想を修正いたします。

なお、第2四半期以降については、新型コロナウイルス感染症対策に関連するスポット需要が業績に与える影響を予測することが難しく、また、新型コロナウイルス自体の感染状況の変化による事業環境への影響についても不確実性があるため、今後の状況の変化によって上記見積を修正する必要がある場合は、速やかに修正内容を開示いたします。

以上